



公明党 桐野 忠 9
防災減災へどう取り組むか



問近年多発する自然災害に対して、雨水対策、河川の強化、防災士の活用など、防災減災に関する市長の考えを伺いたい。

答市長 全国各地で線状降水帯による大雨など、予測が困難で激甚な被害をもたらす災害が多発している。

こうした対応が困難な災害が本市でも十分に発生し得るということを念

頭に置き、市民の生命財産を守るために必要なさまざまな対策、具体的には国・県との連携強化、治水対策の推進、市の防災体制の強化、自主防災

組織等による地域の防災力の向上など、ハード・ソフト両面からの防災減災対策をより一層推進していきたいと考えている。

問防災・減災対策



自由民主党 吉敷賢一郎 10
将来を想定した企業誘致を



問国道254号和光富士見ハイパスが開通した後、都内や外環道へのアクセス向上が想定される。開通を見越した企業誘致について市の考えを伺う。

により地理的優位性が高まることで、事業者からの問い合わせも増えてくると考えられる。事業者等から相談があった場合、庁内関係課による課題の整理を行っており、さらに、立地を希望する企業からの相談に対応できるような体制づくりを進めている。

答産業観光部長 本市の財政運営上、企業誘致は効果が高く大変重要な施策である。また、外環道の和光北インターチェンジとつながり、アクセスが飛躍的に向上すること

が飛躍的に向上すること

問国道254号ハイパス「スポ玉」



政晴会 倉嶋真史 11
排水機場の機能強化を



問長寿命化に併せて天の川排水機場の機能強化をどのように考えているのか、市の考えを伺いたい。

答建設部長 個別設計画に基づき施設更新をする際には、近年の大雨により発生している道路冠水等の実情を踏まえ、排水ポンプの必要能力を精査し、国との協議も含め、必要に応じて排水機場の機能強化について検討し

問下小坂地区水害対策



無所属 小林 薫 12
セクハラへの認識について



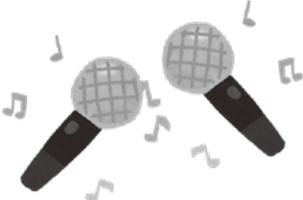
問現代では、男女問わず第三者と手をつなぎデュエットする行為はセクハラ・わいせつ行為だと思

うが、市長の認識は。

答市長 男性の場合、かつて突然手をつないでしまったこともあるが、女性と手をつないでデュエットをするときは基本的におことわりをしているので、セクハラには当たらないと考えている。

問北環状線高架下利用

問市長の政治姿勢



政晴会 樋口直喜 13
赤間川の歴史と名称の活用



問川に縁の深い川越の歴史や文化を継承するため、過去に新河岸川の上流として組み込まれた赤間川の流路では従前の赤間川の名称も活用すべきでは

答市長 本市は、江戸時代に新河岸川の舟運を利用した物資の集積地として発展するなど、川との関わりが深いまちである。現在、新河岸川の名称となっている旧来の赤間

問川の歴史と名称の変遷



公明党 田畑たき子 14
子どもの人権を守る体制



問他市では、共同養育に

関し面会交流のサポート

を行っている所もあるが、

離婚家庭の子どもに対する支援について伺う。

離婚後にも共同で子どもを養育するためには、養育費や面会交流に関する事前の取り決めが大切であり、離婚前に必要な情報を提供し支援を行うことが重要と考えている。

こうしたことを踏まえ、

他市での取り組み状況や

国の制度改正の動きなどを引き続き注視していきたいと考えている。

問子どもの共同養育